

第 31 回 日本免疫毒性学会学術年会 プログラム

9 月 19 日(木)ー環境と免疫毒性ー

〈特別講演〉

「呼吸器感作性評価法の開発」

東京医科大学 善本隆之先生

〈招待講演〉

アメリカ毒性学会からの招待演者による講演

〈シンポジウム 環境とアレルギー 最新知見〉

・「環境因子による上皮バリア破壊とアレルギー性炎症」

国立成育医療研究センター 森田英明先生

・「慢性炎症下における組織常在性記憶 T 細胞を起点とした難治性病態形成の分子・細胞機構」

千葉大学 平原潔先生

・「マウスモデルを用いたアレルギー性鼻炎の増悪・防御因子の探索」

兵庫医科大学 松下一史先生

一般演題および若手・学生演題(ポスター発表も含む)

9 月 20 日(金)ー医薬品開発 有効性と安全性ー

〈特別講演〉

「アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発」

医薬基盤健康栄養研究所 保富康宏先生

〈シンポジウム 新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性〉

・「CpG アジュバントによる免疫予防剤:ウイルス感染に対する効果的な防御手段」

東京大学医科学研究所 小檜山康司先生

・「I 型アレルギーに対する免疫療法の最新知見」

鳥居薬品 土井雅津代先生

・「重症熱性血小板減少症候群に対する新規 mRNA ワクチンの非臨床免疫原性および感染予防効果」

第一三共 江頭志織先生

<学会賞・奨励賞受賞講演>

・学会賞

「医学の源流から本流への回帰:免疫毒性学の役割

～環境因子から生命を衛る免疫機構、細分化した研究から統合の視点へ～」

旭川医科大学 名誉教授 吉田貴彦先生

・奨励賞

「病原体センサーを介したサイトカイン産生誘導機構に関する研究」

和歌山医科大学 佐々木泉先生

<試験法ワークショップ>

テーマ:免疫原性評価

演者

・国立医薬品食品衛生研究所 石井明子先生

・第一三共 浜村えり先生

・中外製薬 橋本永一先生

・総合討論

* 年会のプログラムは随時更新いたしますので、最新の情報をご確認ください。